

しゃ かん ぞう とう
炙甘草湯エキス〔細粒〕37

本方は、どうきや息切れに用いられますが、脈の結滞するものにも用いられるため、復脈湯（ふくみゃくとう）の別名があります。

本方中の地黄がやや胃にもたれる傾向があるため、甘草を炙甘草にしてなるべく胃にもたれないように工夫されております。

 ● 使用上の注意 ●

 **してはいけないこと**

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）

次の人は服用しないでください。

生後3ヵ月未満の乳児



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

- (1)医師の治療を受けている人
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人
- (3)胃腸が弱く下痢しやすい人
- (4)高齢者
- (5)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
- (6)次の症状のある人 むくみ
- (7)次の診断を受けた人 高血圧、心臓病、腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性ありますので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

下痢

- 4. 1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。**
- 5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。**

●効能・効果●

体力中等度以下で、疲れやすく、ときに手足のほてりなどがあるものの次の諸症：

動悸、息切れ、脈のみだれ

●用法・用量●

次の量を食前又は食間に水又は温湯で服用してください。

(食間とは食後2～3時間を指します。)

年 齢	1 回 量		1日服用回数
	分包剤	大入り剤	
大人(15才以上)	1 包	2.5 g	3 回
15才未満7才以上	2/3包	1.7 g	
7才未満4才以上	1/2包	1.3 g	
4才未満2才以上	1/3包	0.8 g	
2才未満	1/4包	0.6 g以下	

〔用法・用量に関連する注意〕

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3)1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。

●成分・分量●

本品3包(7.5g)又は7.5gは

炙甘草……………1.5g	タイソウ……………1.5g
ショウキョウ……………0.5g	ニンジン……………1.5g
ケイヒ……………1.5g	ジオウ……………3.0g
マシニン……………1.5g	バクモンドウ……………3.0g

上記より製した炙甘草湯水製エキス7.6g(乾燥物換算で約3.8gに相当)、ゼラチン1.0gを含有する細粒剤です。添加物としてメタケイ酸アルミン酸Mg、ヒプロメロース、乳糖、デキストリン、香料を含有します。

●保管及び取扱い上の注意●

- (1)直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。)
- (4)本剤は天然物を成分としていますので、製品により若干色調が異なることがあります。効果には変わりありません。
- (5)分包剤で1包を分割した残りを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用してください。
- (6)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

●お問い合わせ先●

松浦薬業株式会社 お客様相談窓口

TEL (052)883-5172 受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

製造販売元

 **松浦薬業株式会社**
名古屋市昭和区円上町24-21